



15日、ロシア軍の攻撃を受けた集合住宅の住民と救急隊員＝ウクライナ首都キエフ（ゲッティ＝共同）

ウクライナ戦争

停戦実施を最優先すべき 住民たちの命を守れ

ロシアの軍事侵攻から20日間、ウクライナの民間人犠牲者が増え続けている。国連人権高等弁務官事務所は、子ども48人をふくむ民間人691人が死亡し、1143人が負傷したと発表した。ただし、激しい戦闘が続いている親口支配地域の情報が遅れているため、実際の犠牲者数はもっと多くなるという。



3月2日、原告・弁護団がオンラインで「原告がいま、話したいこと。伝えたい思い」を配

1月27日、東京電力を相手取り、子どもの甲状腺がん裁判が提訴された（写真上）。福島第一原発事故当時、原告6人が11年経って声をあげることができた。

「悔やまれてならない」と大河陽子弁護士。原告の祖母が、「孫が甲状腺がんと聞いたとき、自分の被ばく対策が間違っていたのかと、間違って話した。最初のときも後悔したが、再発のときはもっと後悔した。もっと離れていればよかったのか、もっと空気を吸わないようにすればよかったのか」と。

「今頃6人で提訴して裁判になるのか」という

福島原発事故

空気を吸うと言うのか 子ども甲状腺がんを提訴

信じた。

原因は原発事故

井戸謙一弁護士

原告は事故当時、6歳から16歳。全員が甲状腺がんにかかり、手術を受けた。小児甲状腺がんは珍しく、100万人中1〜2人。ところが福島県で分かっているだけで293人。原発事故が原因と考えるのが普通だ。

「悔やまれてならない」と大河陽子弁護士

原告の祖母が、「孫が甲状腺がんと聞いたとき、自分の被ばく対策が間違っていたのかと、間違って話した。最初のときも後悔したが、再発のときはもっと後悔した。もっと離れていればよかったのか、もっと空気を吸わないようにすればよかったのか」と。

険しい。

それでも停戦の実施が、最優先課題であることはまちがいない。戦闘が長引けば長引くだけ、住民の犠牲が増え続ける。

ウクライナ危機に便乗

日本維新の会が「核共有」の議論を政府に求める提言を行った。

爆国である日本の元首相が、核兵器禁止へと向かう国際世論に反して、自国の核保有につながる発言を行ったのだ。3日には、日本維新の会が「核共有」の議論を政府に求める提言を行った。



2022年3月23日(水)
第338号

発行所 未来への協働
ホームページ
https://kyodominrai.org
〒577-0023
大阪府東大阪市荒本2丁目14-5
電話/FAX
(06) 4306-3512
郵便振替
00940-8-213061
Eメール
mirai_newsroom@yahoo.co.jp
●発行人 山本 康

●第2・4水曜日発行
●200円(本体182円)
●定期購読 購読料(送料別)
1月 400円(送料188円)
半年 2,400円(送料1,128円)
1年 4,800円(送料2,256円)

今号の主な内容

- 2面 福島原発事故から11年
- 3面 ウィシユマさんの死から1年
- 4面 迷走する政府コロナ対策
- 5面 元さんの新潟日報裁判闘争
- 6面 「陣地戦」の可能性とは

紙面へのご意見、ご感想を

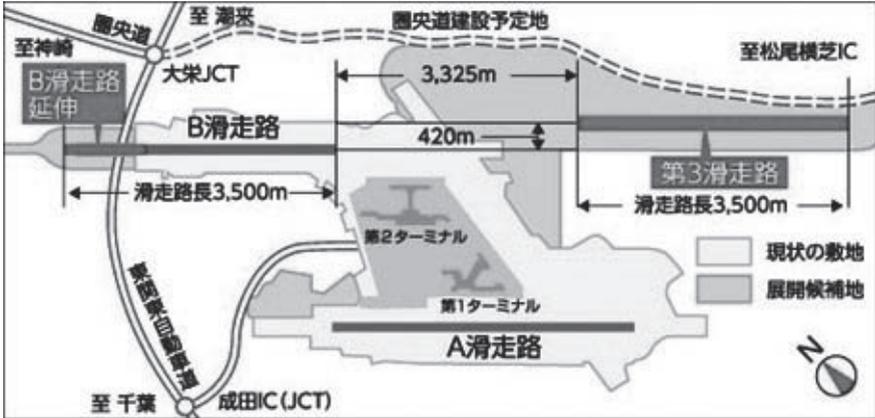
上記発行所までお寄せください。FAXでも送れます(電話番号と同じ)。詩、短歌、川柳、写真なども募集しています。

扇状地

ロシアのウクライナ侵攻が止まらない。それどころか、ますます無理難題を押しつけてくる。Pというたった一人の男に世界中が振り回され、何の罪もない大勢の人びとが殺傷されるといふ暴挙は許せない▼世界は経済封鎖、資産凍結、企業撤退などあらゆる手段でロシアを封じ込めようとするが、この無謀な軍事による力の前にタジタジとしている。そして「西側」といえばアメリカが出てくる▼ウクライナに武器は送らず「核戦争」を避けるねらいは当然ではあるが、激しくロシアの行為を非難する様をみていると、ん？

▼もちろんロシアの行為に何の情状酌量の余地はないが、「どこかで、お宅の国のときはどうだったんですか？(イラクアフガンイスラエル)と問いたくなるが、世界は黙したままだろうか▼日本国内にも、ヤバイ声が出ています。「有事の際には核を共有できるように」だとか。あんな今、それが危ないと言ってるんでしょが！と叫びたい(侑)

成田第3滑走路は無用 国際便90%の減便続く



長期化するコロナ禍により、空港、航空・旅行業界がもっとも打撃を受けているのは周知のとおりだ。成田空港では、全便の80%をしめる国際線が90%超激減する状況である。それが2年間継続し、今後を見通すこともできない。経営的にもこの2年間、700億円/年を超える赤字を重ね、危機的状況にある。成田空港会社（NAA）田村社長は、今年1月「航空復活元年に」と言ったものの、なんら具体的方策を示すことができない。1カ月後には「未曾有の航空危機が長期化する」と吐露した。

第3滑走路・機能強化計画は、周辺市町の合意を得てスタートしているが、進捗が期待できない状況にはない。政府・NAAは計画の立ち消えを恐れ、県や周辺市町は機能強化へ協力する見返り振興策がなくなることに怯えている状況が見える。成田空



成田空港の国際線到着ロビー（昨年12月1日撮影）



名古屋入管の施設に収容中だったウイシュマ・サンタマリさんが死亡してから1年、名古屋駅前で行われた抗議集会＝6日、写真提供：共同通信社

名古屋入管収容場で亡くなったスリランカ人ウイシュマ・サンタマリさんの1周年忌の3月6日、「入管の民族差別・人権侵害と闘う全国市民連合」のよびかけで、札幌から四国高松までの全国10カ所で一斉追悼アクションが行われました。ウイシュマさんの遺骨が収められた明通寺（愛知県愛西市）で、妹のポールニマさんら遺族と支援の人びとによる法要が行われました。

大阪・扇町公園には

100人余が集まりました。入管の収容者との面会や仮放免の支援を続ける人たち（世代もさまざま、女性も男性も）は、その活動を通じて「入管は外国人収容者を人間と認めていない」とさまざまに訴えていきました。3月25分、1分間の黙祷が捧げられデモ行進に発展しました。

ウイシュマさんの死で激しい批判が浴びせられたにもかかわらず、入管当局側の「人権無視」の姿勢はなにひとつ変わっていないと感じます。東入管で暴行を受け、重い障害が残った日系ブラジル人男性が、入管当局を訴えた裁判の公判が昨年12月にありました。原

告側の求めて開示された現場の映像には、職員がさまざまな怒号と暴行が写っていました。そして、その後、証人席に出て来た当該の職員は、「自分のしたことは訓練通りのいつものやり方であり、上司の命令に従ったままで」と平然と語ったそうです。（3月9日、10日の毎日新聞）

3月4日、遺族は「ウイシュマさんに適切な医療を提供せずに死に至らしめた」として国に約1億5600万円の賠償を求めて提訴しました。「ウイシュマさんの死」を忘れず、入管体制を変えるまで力を合わせていきます。（水島）

正義はまだ行われていない

名古屋入管事件 ウイシュマさんの死から1年

も言及している。関西実行委員会は、現地闘争、新やぐらや耕作権裁判、産直野菜のとりくみなど反対同盟農民の闘いと生活の両面で支援運動を続けている。4月10日「食と農業の今」学習集会は農業とは、農民とはというテーマにアプローチする。

「食と農業の今、食糧自給率37%から見えること」の学習集会を案内します。

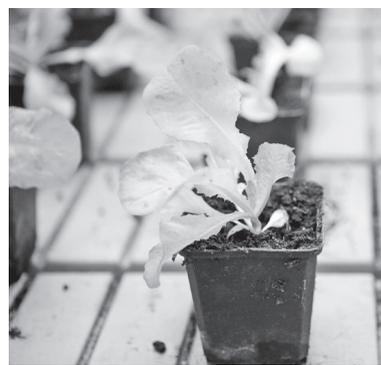
なぜ食糧が自給できなくなるのか。足りなければ、輸入すればいいのか。強制執行判決に対し、お



自給率37% 食と農の今

4月10日 藤原辰史さんが講演

農業を大規模化し、小規模・家族経営を切り捨ててきた日本の農業政策は、どういった経緯で進められたのか。その過程で農地を強制収用強奪し、三里塚・成田空港建設が強行されてきた。それに抵抗し、農地を守ろうとしてきた三里塚闘争。50数年たったいまも、市東孝雄さんは最高裁の強制執行判決に対し、お



三里塚「産直野菜」は有機無農薬。毎週・隔週、「お試しセット」もあり。【お問い合わせ】TEL/0799-72-5242 関西美 E-mail/kanjitsu_mail@yahoo.co.jp

金もらって出ていくんじゃない。ここで農業をやり続ける。それだけでいい」と言う。

人間と農業の歴史とは何か。京大人文科学研究所准教授の藤原辰史さんが話します。（淡）

2月下旬、まだまだ寒さが。3月からやや気温も上がり、上がりすぎるとうち中の葉物がとう立ち（芯が育ち、花芽が出る）してはという心配も。作付けや種まきで徐々に忙しくなります。キャベツやレタスの苗が育苗ハウスで育っています。（淡）

迷走する政府のコロナ対策

「2類5類」と介護現場の混乱

新型コロナウイルスオミクロン株BA.1の国内感染ピークは下降しつつあります。それは、政府・自民党と資本の側からの「経済対策、利権へ」という大合唱の始まりでもあります。今回は新型コロナウイルスが「感染症法2類扱いなのか5類扱いなのか」に焦点をあてます。(小柳太郎)

オミクロン株BA.1

医療センター呼吸器内科 寺本信嗣・教授)。

新型コロナウイルスは、短い期間に次々と変異し、オミクロン株(BA.1)による重症肺炎の危険性は、デルタ株まではC-Tスキャンで肺全体に大きく下がるのです。基礎疾患のない人が感染し、重症化しにくい一方、高齢者や基礎疾患を有する人々には依然として重大な脅威です。統計データでも、デルタ株までは死亡者が50〜90歳に比較的に分布してま



「感染経路」では、「現段階でエアロゾル感染を疑う事例の頻度の明らかな増加は確認されず、従来通り感染経路は主に飛沫感染と接触感染と考えられた」としています。屋内や飲食の機会が感染が広がっているとする一方で、「エアロゾル感染事例の増加は確認されず」として、頑なに「空気感染」を否定しています。

WHO、アメリカCDC(疾病対策センター)は、主要な感染経路が空気感染であることを認めています。2月1日、感染症や物理学など有識者8人が連名で感染研の脇田隆幸・所長に公開質問状を送りました。質問状の代表である東北大学大学院理学研究科の本堂毅氏は、病室と室内換気の関係の研究で知られ、日本臨床環境医学会にも所属する物理学の専門家です。

しかし、感染研からは「お問い合わせのご意見も参考にしながら、今後とも最新の科学的な知見に基づき感染症対策に資する情報発信を適切に行なっていく所存」という回答でした。聞く耳を持たない厚労省・感染研の体質が見えます。

「空気感染」問題

岸田内閣と厚労省、国立感染症研究所は引き続き迷走しています。感染研が今年1月に公表した「新型コロナウイルスの

建て前2類

なし崩し5類

現場に混乱をもたらしているのが、「建て前は感染症法2類、なし崩しに5類で対応」です。新型コロナウイルスは発見当時、感染症法2類扱いとなりました。結核、SARS、MERSと同レベルの隔離対象で、医療行為だけでなく「おむつ交換」や床掃除も看護師など医療スタッフが行なわなくてはなりません。

20年当時、私は職場の同僚たちと「床掃除や拭拭(患者の身体をきれいにする)だけでも、応援に行けないものか」と話しあい、調べてみました。結局、「2類扱い」が壁

となり、応援を断念せざるを得ませんでした。ところが21年2月5日付けの厚労省新型コロナウイルス対策本部の通達で、施設系介護ヘルパーに続き、訪問介護ヘルパーも「状況により5類で対応」です。新型コロナウイルスは発見当時、感染症法2類扱いとなりました。結核、SARS、MERSと同レベルの隔離対象で、医療行為だけでなく「おむつ交換」や床掃除も看護師など医療スタッフが行なわなくてはなりません。

となり、応援を断念せざるを得ませんでした。ところが21年2月5日付けの厚労省新型コロナウイルス対策本部の通達で、施設系介護ヘルパーに続き、訪問介護ヘルパーも「状況により5類で対応」です。新型コロナウイルスは発見当時、感染症法2類扱いとなりました。結核、SARS、MERSと同レベルの隔離対象で、医療行為だけでなく「おむつ交換」や床掃除も看護師など医療スタッフが行なわなくてはなりません。

神戸市では「コロナは感染症2類扱い。ヘルパー対応ではなく訪問看護師に対応を依頼するべきではないか」という声が出ました。わが国は、早急に感染症法を改正すべきだ。ポイントは、国家の権限を強化し、民間病院に無理やり感染者を押し付けることではない。検査、治療や隔離を陽性」と言い出したこと

が市議会に届き、今日まで在宅の陽性患者については訪問看護師が対応しています。しかし、全国的にはヘルパー対応がまかり通っています。オミクロン株感染拡大

のなかで、厚労省の対策本部は1月21日、「濃厚接触者となった介護従事者が、下記の要件及び注意事項を満たす限りにおいて介護に従事することを不要不急の外出に当たらないとする取扱いも可能とする旨をお示しすることになりました」(傍線は厚労省)という通達を出しました。わが国は、早急に感染症法を改正すべきだ。ポイントは、国家の権限を強化し、民間病院に無理やり感染者を押し付けることではない。検査、治療や隔離を陽性」と言い出したこと

これまで「濃厚接触者の検査数(1週間平均)、日本は1.18件でメキシコに次ぎ少なく、マレーシア(3.25件)やインド(1.27件)に及びま

検査数は最低レベル 厚労省・感染研の体質を示すのが、新型コロナウイルス検査数です。医療ガバナンス研究所理事長の上昌広氏のまとめによると、「人口1000人あたりの検査数(1週間平均)、日本は1.18件でメキシコに次ぎ少なく、マレーシア(3.25件)やインド(1.27件)に及びま

合性」について説明はあきません。多くの国は、オミクロン株の流行下でも日本とは桁違いの検査を実施している」とのこと。OECD諸国中、下から2番目の検査数です。

検査数は最低レベル 厚労省・感染研の体質を示すのが、新型コロナウイルス検査数です。医療ガバナンス研究所理事長の上昌広氏のまとめによると、「人口1000人あたりの検査数(1週間平均)、日本は1.18件でメキシコに次ぎ少なく、マレーシア(3.25件)やインド(1.27件)に及びま

確かに規定する必要があかつていても、多くの都道府県で病床が逼迫する中、これを「通知」で済ませてしまった。周囲の反対を押し切って、らい予防法や結核予防法を廃止した、かつての医系技官とは対照的だ。

人びとの希望にこたえる対策を

上昌広氏 (医療ガバナンス研究所理事長)

は、早急に感染症法を改正すべきだ。ポイントは、国家の権限を強化し、民間病院に無理やり感染者を押し付けることではない。検査、治療や隔離を陽性」と言い出したこと

が今年1月に公表した「新型コロナウイルスの

「通知」が問題なのは、法的拘束力がない「技術的助言」に過ぎないからだ。感染症法の規定と異なる「通知」を濫発されれば、現場はどうしていいかわからなくなる。オミクロン株は軽症と分

「通知」が問題なのは、法的拘束力がない「技術的助言」に過ぎないからだ。感染症法の規定と異なる「通知」を濫発されれば、現場はどうしていいかわからなくなる。オミクロン株は軽症と分

「通知」が問題なのは、法的拘束力がない「技術的助言」に過ぎないからだ。感染症法の規定と異なる「通知」を濫発されれば、現場はどうしていいかわからなくなる。オミクロン株は軽症と分

「通知」が問題なのは、法的拘束力がない「技術的助言」に過ぎないからだ。感染症法の規定と異なる「通知」を濫発されれば、現場はどうしていいかわからなくなる。オミクロン株は軽症と分

核威嚇と共有論

核・原発をめぐる最悪の事態が続いている。

プーチンによる核兵器の使用も辞さない威嚇がおこなわれ、ウクライナの原発や核施設への攻撃も相次ぐ。1950年代の原水爆実験ラッシュ、朝鮮戦争やベトナム戦争時の「核使用」発言、イラク、ユーゴへの劣化ウラン弾使用など、たびたび危機があった。しかし、これほど核がむき出しにされたことはない。

安倍元首相が「核を日本に配備し共同運用へ議論すべき」といかにも軽く持ち出し、維新が後押しする。この暴言に被爆者の怒りは激しい。

原爆と原発

核は廃絶できるのか。ヒロシマ、ナガサキから77年となる。核保有5大国をはじめ世界は約1万3千発の核爆弾、ミサイル弾頭を保有する。原爆は広島、長崎、ビキニのように一瞬で膨大な放射線、熱線、爆風を浴びせ大量殺りくと深刻な放射能被害をもたらす。

核分裂エネルギーはすべて「平和利用」(注)に応用された。世界は400基以上の原発を運

転し、計画中もある。

「原発は、水と電気が止まれば原爆と同じ」。冷却水を循環させるために、大量の水と電気がいる。巨大地震や津波の可能性があるはゼロか。万一のとき送電を維持できるのか。100万キロワット級の

(注)「核は軍事用、原爆として開発された。核分裂は巨大爆弾に最適。平和利用は、その1面」(小林圭二さん)

「核の世紀」の77年

核は廃絶できるのか (下) 竹田雅博

239製造装置である。その一方、原発継続の動きも強固だ。関電は「原発はカーボンゼロ」というCMを流し始めた。1月に報道された「三菱重工など米高速炉計画に参加」も看過できない。

原爆による大量放射線、一瞬の地表温度3000度の熱線、秒速400メートルの爆風、大量被爆による急性放射能障害によって、広島では14万人が殺された。

広島・長崎の被爆から数日、数カ月、半年後、何万人の死んだのか。被曝で染色体や遺伝子を破壊された細胞は再生できなくなる。数年、数10年後にも白血病やガンを発生させる。私たちは、原発事故が起こればどうなるかも知った。

いったん生成、放出された放射性物質を除去することはできない。半減期は、短いストロンチウム90やセシウム137で約30年、プルトニウム239は2万4000年

チェルノブイリ、福島第一のように事故はかならず起きる。原発は原爆に使うプルトニウム



原爆で亡くなった生徒たちの衣服(広島平和記念資料館)

核とは共存できない

原爆による大量放射線、一瞬の地表温度3000度の熱線、秒速400メートルの爆風、大量被爆による急性放射能障害によって、広島では14万人が殺された。

核とは共存できないを要する。それでもなお、「そのうち、なんとかする」と考えるのか。旧東海村JOC事故で核分裂したウラン溶液は1ミリグラム。亡くなった作業員2人は、一瞬に8〜20シーベルトの中性子線を浴びた。8シーベルトで致死率100%。広島原爆の爆心から約1キロ内に相当する。人間と核は共存できないのである。

「核の論理」の転換

昨年8月6日の広島で田井中雅人さんは「核を共有論」は何をもたらす保有する側は被ばくの被害を常に低く見積もろうとしていた。核禁止条約の禁止規定は、それを根

本から崩してしまう。核の論理に終止符を打つ転換点になる」と話した。1945年から21世紀道筋は、見通せるだろうか。(おわり)

元さんの新潟日報裁判闘争

新聞社内からの報道批判

片桐元著 幻冬舎ルネッサンス新社2021年刊

新潟日報の記者だった著者が、狭山闘争との関わりの中で自らの差別意識と向き合いつつ、メディアの差別報道を内側から糾弾し、労働現場で闘い抜いた記録をまとめたものが中心となっています。

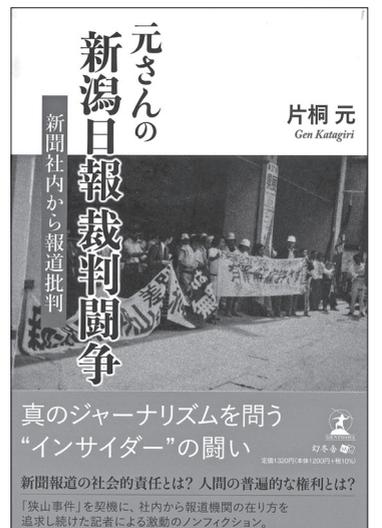
差別報道を自ら糺す

報道糾弾闘争に本格的に立ち上がるのは1973年。つまり狭山事件から10年後です。

この間、部落解放同盟から差別見出しへの糾弾が行われたり、他の差別事件への関わりがあらがらも部落差別にまだそんなに問題意識が持てていなかった苦闘の過程を経て、自らもその差別に加担してきたものと反省して立ち上がっていった。

石川さんが二審の意見陳述の中でそう読んでもらいたい。労働運動という面でも有意義な内容です。

「マスコミ陣は警察当局の根拠不十分な見込み捜査を批判するのではなく、取り調べにてこずり、裏付け捜査が難航しているのは菅原部落が特殊地域でほとんど血縁関係で結ばれているからと差別キャンペーンを流して市民をあと無実であった



私は公器といわれるマスコミによってすでに殺人者としてあらゆる汚名を着せられていたことになる。」

著者たちは、狭山事件報道を捉え返し糾弾する闘いを激しい弾圧を受けながらもやり切りました。この記録をさまざまな現場の労働者に読んでほしい。労働運動という面でも有意義な内容です。

読み始めたなら、文体からある種の懐かしさを感しました。反戦青年委員など活動された方が書いたものだからでしょう。私がそういうところに関わり始めたのは90年代以降なので、先輩なのだろうと思

懐かしさと感動 読み始めたなら、文体からある種の懐かしさを感しました。反戦青年委員など活動された方が書いたものだからでしょう。私がそういうところに関わり始めたのは90年代以降なので、先輩なのだろうと思

懐かしさと感動 読み始めたなら、文体からある種の懐かしさを感しました。反戦青年委員など活動された方が書いたものだからでしょう。私がそういうところに関わり始めたのは90年代以降なので、先輩なのだろうと思

(浅野洋二)

ロシア市民が止めなければ

トガシさんの「沖縄便り」^⑳

3月1日は、安和琉球セメント棧橋入口で辺野古埋め立ての土砂を積み込んだダンプを止めながら、「ウクライナ侵攻をやめよ」のボードを持ち、アピールしました。

プーチンの戦争は、米軍基地撤去へ積み重ねてきた運動、軍事力では平和を維持できないという運動を壊すものでしかありません。私たちは、また一から「武力では平和は創れない」と口を酸っぱく言わねばならなくなるのかと心配です。

沖縄戦を振り返っても、プーチンは「ウクライナも簡単にギブアップしな



ないでしょう。日本の場合は侵略した戦争だったから、降伏は受け入れやすかったけど、ウクライナは侵略を受ける側だから、それは受け入れ難いでしょう。

沖繩戦の場合、自軍たる日本軍と住民の間は、かならずしも一体ではなかった。沖繩の住民は徴兵されるといふ感覚であつたし、ウクライナは志願する市民が多いのでしよう。「士気」が高い

と言つてはどうか。そう考えると、侵略戦争を終わらせるのはロシア市民でなくてはなりません。私たちが痛みを伴いながら、ロシア市民へ連帯する方法は多くあります。

今のロシアは、戦前の日本のように思えます。当時の日本の指導者は言

残酷な春

渡辺信雄

笑えない

口をあければ

黒と赤の煙が流れてきて喉を焦がす

戦車行列をつくり市街を行く

バリケードと火炎瓶で対抗する

無音のミサイルが飛び交う

世界は核のペールに覆われて

何が人類の進歩か

テレビの穴に死体が捨てられて

手を差し伸べる事ができない

陽の光が降り注ぐ春

シエルターで暮らす人よ

赤ちゃんが誕生し母が生まれる

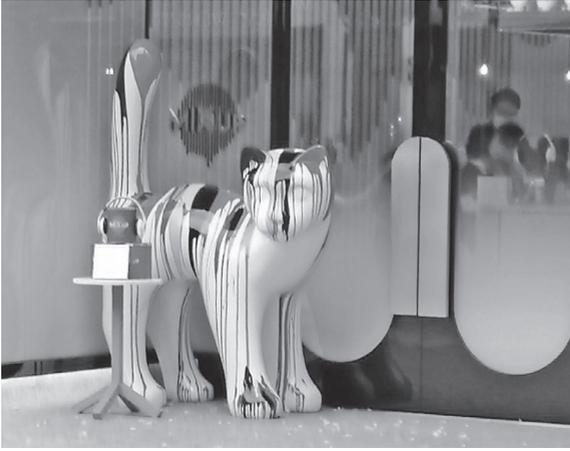
愚か者たちの

残酷な行為を許すな

大地をヒマワリの笑顔で埋め尽せ

まい・しよっと

(24)



(石 撮影：2021年12月5日)

「老朽原発うごかすな！」のデモの途中。御堂筋のレストランの前に、いろいろなカラーペンキを被ったネコの作品が置かれていた。尻尾を立ててデモを威嚇しているのか。失礼…猫が尻尾を立てるのは、かまってほしい、うれしいときのポーズらしい。デモを、歓迎している！



一つ前の336号を拝読、読み応えある新聞でした。

(あ)ノリードに説明もあつたのですが、ブレジンスキーやロシアの位置など読むと、侵攻下ではどうしても「ロシアもやむなく」に読めてしまった。(ち)ノロシア、ウクライナ。その歴史、民族、国民感情などほとんど知らなかったと思つた(ひ)ノハートラ

先日オンラインで、新潟県において、介護や福祉事業の生活協同組合を運営されている高見

優さんの講演を聞いた。テーマは、『日本における陣地戦の可能性を探る』というもので、高見さんが自らの経験を話

された。お話は、多岐にわたるものでしたが、その一つは「協同労働」の実践の話でした。これまでに30

近い介護事業所等の立ち上げに参加し、それらを生活協同組合で運営しているそうです。普通の市民が事業を立ち上げ、運営して、地域と結びついていくあり方をわかりやすく報告していただきました。「出

声 「陣地戦」の可能性とは

大阪 町田等志

私が印象に残ったのは、「自立・自律した事業・運動拠点をつくり維持する」ためには、2つ

のことが大切で、その一つが地域に根ざした金融システム(銀行の役割)と、さらに陪審制度をめぐり、市民が普通裁判に参加して、判決の責任をとることを避けてしまっている。これで社会の主体者になれるのかと。この問いかけは、

本場に大きなテーマであると思ひました。「陣地戦」とは、敵か味方かではなく、自立が依存かなのだと。

事業の実践的な学びの場(学校の役割)というも

文化の主人公(主体者・責任者)である」と言う

イベント紹介

- 4月23日(土) 今を生きる私たちと水俣水俣病センター 相思社・永野三智講演会
- 午後2時
- 海外移住と文化の交流センター5階ホール
- JR/阪神「元町」駅東口から北へ徒歩15分
- 定員80名(要予約)
- https://forms.gle/4FCqo9fyqoDZ1L9787
- 主催：永野三智講演会実行委員会
- 4月29日(祝・金) 建国記念の日「紀元節」を考える京都集会2022
- 建國記念の日「紀元節」を考える京都集会2022
- 韓国人元BC級戦犯・李鶴来さんの生涯に学ぶ
- 午後1時半開場 2時開会
- キャンパスプラザ京都 第三講義室
- JR京都駅北側すぐ
- 主催：第55回2・11京都府民のつどい実行委員会/第43回2・11京都集会—京都「天皇制を問う」講座実行委員会